



* CONTENTS *

◆ 特集	力を合わせて元気な集落づくりを！ P.2.3	子ども広場、木工クラフトの拠点 丹波年輪の里 P.4	森あそびのススメ
	ささやまの森公園 P.5	たんば、COM、くらし安心 P.6	地域とともに 丹波の森研究所 P.7
			お知らせ P.7.8

力を合わせて 元気な集落づくりを!!

「丹波地域 集落活性化の道すじ」

丹波の森研究所では、平成18〜20年度に「丹波地域集落活性化戦略調査」を実施し、その成果を「集落活性化の道すじ」にまとめました。その概要をご紹介します。

集落活性化は、なぜ必要か？

丹波地域は、かつてはそれぞれの集落を単位として、農林業や生活が営まれ、地域のまとまりもありました。その後、農林業離れが進んだことなどによって、人口の減少と高齢化、地域活力の低下、農地・山林の荒廃などが見られるようになりました。近年、存続が難しくなった集落をさす「**限界集落**」という言葉が聞かれます。およそ65歳以上の住民が50%以上を占める「**限界集落**」は、丹波地域にはほとんどありませんが、「**候補**」はかなり存在します。

若い人の中には、集落のしきたりやしがらみが嫌で、都会へ出たいと思う人もいます。この傾向は続くかも知れませんが、集落はそこに生まれ、育った人にとっての故郷です。丹波の奥深い文化や風土、懐かしさを覚える田園風景は、集落の中で育ったものです。時代は変わっても、**集落**ことや複数の集落が協力して、様々な問題を自ら解



農業系集落（篠山市宮代）

決し、満足できる生活とともに、**集落**のまとまりが持続する**元気な集落**を育てる「**集落活性化**」を進める必要があります。

一方、安全で新鮮な食が求められ、田舎を訪れ、住みたい都市住民が増え、地球環境に果たす農地や山林の役割が認識されるなど、農山村地域への関心が高まっています。

このような時代の変化を活かし、集落にまだ元気がある今から、住民が中心になり、行政や企業等と協力して、集落活性化に取り組む必要があります。

集落活性化の方向

丹波地域の集落は、大きく「農業系集落」「町型集落」「住宅集落」に分類できます。この中でも、大半を占める**農業系集落**の活性化が最も重要です。ここで、若者の流出の多くは、丹波地域の利便性の高いところへの移住（**域内移住**）であることが分かりました。

このため、若い世代の集落への定着を進めるために、就業と暮らしの両面からの魅力づくりや、子どもの頃から集落への関心を高め、結びつきを強めていくことが大切です。また、若い世代や女性などの知恵や力を活かせる柔軟なまちづくり組織を育てることや、適度な宅地や住宅の供給など、新たな土地利用をめざすことも必要でしょう。

集落活性化をどう進めるか？

集落活性化に向けて、次のようなことが大切です。

- ① **集落人口の安定と年齢のバランス**
新住民の受入れ（Uターン・Iターン）、集落内での若い世代向け住宅や宅地の供給
- ② **住民の自立と主体力の発揮**
和気あいあいとした「コミュニティづくり」、集落を補完する「校区」などを単位とする活動や事業、自治会を基盤とする柔軟なまちづくりの組織（若年層や女性の参加、テーマ別部会など）
- ③ **集落産業の活性化**
地域の伝統的な産業（黒大豆、小豆、茶、焼き物、檜皮茸、漢方薬、観光



町型集落（丹波市青垣町佐治）

などの再評価と活性化、地域資源の活用による産業の創出（街並みの保全や空家を活かしたビジネス、食と農を活かした田園ツアー、化石を活かした環境学習ツアーなど）

④ **集落への愛着づくり**
自然の中での子どもの能動的な遊びや体験、大人と子どもによる地域景観の再評価と保全育成、祭りなどを通じた多世代の交流

⑤ **集落環境の改善**
日役などの改善、都市住民・企業・団体等との協働、緑条例に基づく宅地供給、獣害に強い集落づくり

⑥ **まちづくりプランの作成**
話し合いと合意に基づく集落・校区プランづくり

⑦ **広域的な取り組み**
集落だけでは困難な課題における流域や公益団体（NPOなど）との協働

丹波から

新たなライフスタイルの

提案を



丹波の森公苑長
丹波の森研究所長
中瀬 勲

待ち遠しい春がそこまで近づきつつあります。私たちの社会も、少子・高齢、人口減少社会などといわれている中で、新しい地域社会や経済の仕組み、ライフスタイルなどを早急に再構築することが望まれています。「造る」から「使う」時代といわれますが、造ることは、全国一律の方法論で可能であったともいえませんが、使うことは異なる場面が想定されます。使う主体は地域の方々ですから、使い方に地域独自の英知を結集し、それらを展開することが望まれます。

かつて、「発想法」というタイトルの新書本を愛読したものです。ワークショップなどでよく使われている方法です。その中には、BS法(Brain Stormingの略)とかKJ法(Kawakita Jiroの略)といった発想の仕方が解説され

ていました。印象深く残っていることは、各種情報を整理する際に「情念を重視する趣旨のことです。新しいことを見いだすためには既成概念に囚われない発想が必要であるということ」です。リンゴ、スイカ、サッカーボール、硬球…、どのように分類しますか？

今年には生物多様性国際年であり、10月には生物多様性に関連する国際会議COP10が名古屋で開催されます。その影響もあるのでしょうか、生態系サービスという言葉が、新聞やテレビなど、マスコミでも使われつつあります。

これは健全な生態系から、私たちが食料、医薬、水、さらには気候緩和などの効用を得ることができるということです。かつてから、私たちは、里山から燃料、肥料、キノコなど、多岐にわたる恵みを得ていましたし、さらに里山は、生物多様性の原点であるともいえます。森林からは、建材、燃料などのバイオマス資源を得ることができました。里山や森林のみならず、田畑も、河川も、これらは恵み資源の源泉であるといえます。気象緩和にも、大いに貢献してくれています。まわりの、これらの里山、森林、田畑、河川…などは、生態系サービスの原点であるといつて

も過言ではないでしょう。

人口減少社会を迎えつつある今、かつての先人たちの、自然環境の中での地域社会形成の知恵、営みの知恵、自然のつきあい方の作法などを学習し、再確認し、そこから多くの刺激を得ながら、新しいライフスタイル提案や経済活動を展開する好機であると思われまふ。丹波はこの方向に対して、一番近い位置、環境にあると思いますし、既に始まっているともいえます。

ファーストフードに対するスローフードや「スローライフ」、健康と持続可能性を意図したライフスタイルを意味する「ロハス」などが、イタリアやアメリカから発信され、世界中に展開していますし、よくいわれた「モッタイナイ」も同様であると考えます。丹波の森構想は、20年も前から、森林文化を標榜し、地域全体を森とした地域造りを推進し、地域のライフスタイル提案を推進してきたとも理解できます。この丹波の森構想20年の評価・検証を踏まえて、次の20年を見据えた丹波らしいライフスタイルを提案し、構築し、実践し、発信するよい時期であると思います。

協会がサポートします

集落活性化を進めるためには、相談や助言、人材の育成、関係者間の調整、調査研究や提言などを専門的に行っていく場や機関の設置が考えられます。しかし、もっとも大切なことは、集落に住む人々が集落で起きている問題に気づき、話し合い、行動することです。丹波地域では、集落活性化に向けた積極的な取り組みが各地域ですでに数多く見られます。

(財)兵庫丹波の森協会／丹波の森研究所は、集落活性化に向けた相談、話し合いや計画づくりの支援などを通じて、地域のみなさんの力になりたいと考えています。どうぞ、お気軽にご相談ください。

※「集落活性化の道すじ」をご希望の方は、送料290円を添えて、兵庫丹波の森協会／丹波の森研究所までお申し込みください。

TEL&FAX:0795-73-0933



地域と企業による里山管理（篠山市油井）

あつまれ！げんきな！子ども広場メンバー募集のお知らせ

さあ縄文ワールドへ！

丹波縄文の森塾

丹波の森公苑の里山を舞台に、1年を通して学ぶ自然体験塾。

小学校3～6年生を対象に、生き物や草木の観察、山菜や木の実の食体験、森あそび体験など、数多くの自然体験ができます。

募集は、4月上旬の予定です。

問い合わせ

森づくり課 (0795-72-5169)

先生は高校生！生徒は小学生！

たんば子ども塾

夏期休業中、丹波地域の高校を会場に、各校の特色を活かしたテーマで実施する全7回の講座です。

おもしろ科学実験や調理実習など、興味深い内容ばかり！高校生との交流も人気のヒミツ♪

平成22年度の募集は、6月中旬ごろの予定です。昨年までの様子は丹波青少年本部HPをご覧ください。

問い合わせ

丹波青少年本部 (0795-72-5168)

ふるさとの魅力発信!!

丹波の森若者塾

地元の高校生を対象に、丹波地域を拠点として活動する大学生とコラボレーションしながら、ふるさと丹波の“よさ”や“らしさ”を発見し、丹波地域の魅力を発信することを目的として、『丹波の森若者塾』を昨年に引き続き賑やかに開催します。

問い合わせ

丹波青少年本部 (0795-72-5168)

夏休みの美術教室

丹波の森子ども美術クラブ

小学生を対象に、夏休みに開催する美術教室です。

豊かな自然の中で、次代を担う若手アーティストと交流しながら造形の楽しさを体験することを通して豊かな感性を育みます。

募集は7月上旬の予定です。

問い合わせ

文化振興部 (0795-72-5170)

第9期 丹波の森

子どもミュージカル体験塾

「オズの魔法使いと夢の国」

演技を基礎から学び、プロの俳優と共演するための本格的な「歌」や「ダンス」のレッスンを重ね、感動いっぱい発表公演を行います。

小学校1年生から高校3年生までを対象とします。

募集は6月下旬の予定です。

問い合わせ

文化振興部 (0795-72-5170)

めざせ!! 里山マイスター

森の学校

ささやまの森公園の豊かな自然の中で『ツリーイング・間伐』などさまざまな体験を通して、たくましく生きる力を育てませんか。

“よく見て よく聞き よく考えそして元気にみんなと仲良く!”を合言葉に、年間毎月第1土曜日、小学新4～6年生での交流も深め、里山体験ができます。

問い合わせ

ささやまの森公園(079-557-0045)

詳細等はチラシ、ホームページなどでお知らせします。

(紹介した事業は平成21年度末時点での計画ですので変更する場合があります)

木工クラフトの拠点

丹波年輪の里

第23回 丹波の森

ウッドクラフト展(木のおもちゃ大賞展)

木のぬくもりあふれる「おもちゃ」を募集します
(ジュニアの部はおもちゃに限定しません)

作品募集

一般の部 平成22年 7月1日～8月14日 消印有効

ジュニアの部 平成22年 7月1日～9月14日 消印有効

主催・丹波の森ウッドクラフト展実行委員会

http://www.hk.sun-ip.or.jp/wood/w_craft/

6月は環境月間!

Myはしから始めよう!

カンナを使ってこだわりのマイ箸を作ってみませんか?

毎週日曜日・定員10名・要予約・所用時間は約2時間

小学生以下のお子様は保護者同伴をお願いします。

入館無料

工作室使用料一般100円、中学生以下50円(材料費別途)

団体貸切要予約

2010アトリエ作品展 4月29日(木)～5月5日(水)

年輪の里友の会会員や、サークル参加者、指導員による作品の展示

春の木木市 5月15日(土)

丹波市内の製材所等からDIY向けの端材が大集合!

夏休み工作教室 7月下旬

夏休みの工作はこれでバッチリ!

絵本を楽しもう! 8月初旬

絵本の読み聞かせや牛乳パック工作

作って飛ばそう竹とんぼ大会 8月22日(日)(21日は教室開催)

自作の竹とんぼを大空高く飛ばそう



一昨年度夏休み工作教室

お問い合わせ先

12種類の楽しいクラフトメニューをはじめ、小さなアクセサリーから木のおもちゃ、家具づくりまで、工具や材料をご用意してスタッフ一同皆さまのお越しをお待ちしています。

みんなの工作室 丹波年輪の里

〒669-3312 兵庫県丹波市柏原町田路102-3

TEL. 0795-73-0725 FAX. 0795-73-0727 E-mail mail@nenrin.org

開館時間: 9:00～21:00(工作受付は16:00まで)

休館日: 毎週月曜日(祝日の場合は翌平日) <http://nenrin.org/>

森あそびの ススメ

—命は繋がっている—

丹波の森公園は里山と親水池（遊水地）からなり約50haの面積があります。散策コースがつくられ、多くの方が訪れています。特に春は山菜 秋は木の実を楽しむ人が年々増えています。

今回は植物『森と生き物』について考えて見ます。公園には記念植樹と一般植樹併せて約50種が植樹されています。山にはヒノキとスギの植栽林とツツジ、コナラ、マツの自生林が基本植生になっています(昔はマツタケも生えたと思えます)。

開苑時、初代公苑長河合雅雄博士の遠大な夢「オオムラサキが舞う里山づくり」を目指し、エノキとクヌギが多く植栽されました。玄関正面の600mに及びエノキ並木170本と

林縁部のクヌギ500本は日本一の植栽規模です。

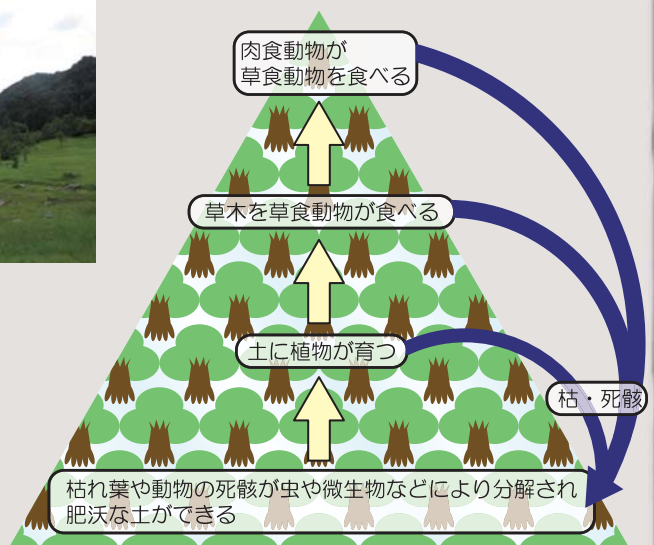
オオムラサキの幼虫はエノキを食べ、成虫はクヌギなどの樹液を吸い、一年一世代の生活をします。植栽されたクヌギもスズメバチが来て樹皮をかじると樹液が出るほどに育ちました。地元オオムラサキを飼育して放蝶の準備をしています。



生き物が生きる必要条件是食べ物、安全、気候ですが食べ物が第一順位です。小学校で食物連鎖のピラミッド図を学びました。生き物の世界は、食う・食われる＝生産者・消費者の循環です。

多くの種類(種)の植物が育つ森は多くの生き物を育みます(豊かな生態系・生物多様性といえます)。

生物多様性の循環の中で人も生かされています。
森は命の循環と空気の循環・水の循環など大きな役割を担っています。



春の里山まつり

とき 4月 11日(日) 10時～15時(申込み不要)

内容 木クラフト・餅つき・ツリーイング・森のバザー・農産物販売 ほか



～定例プログラム～

4月

- ・春の自然を楽しもう
- ・ささやまの森公園杯争奪
～グラウンドゴルフ大会～ ほか



5月

- ・新緑の深山に登ろう
- ・ゴールデンウィーク特別企画
～木クラフト～ ほか



6月

- ・モリアオガエルとホタルの観察会
- ・里山伝承
～端午の節句“ちまきづくり”～ほか



7月

- ・昆虫標本作り
- ・ささやまの森探検隊 ほか



8月

- ・そば道場入門(里山体験シリーズ 全3回)
- ・お盆休み特別企画
～顕微鏡でミクロの世界をみよう～ ほか



兵庫県自然活用型野外CSR事業

ささやまの森公園

〒669-2512 兵庫県篠山市川原八幡谷511-1
TEL079(557)0045/FAX079(557)0201
U R L : <http://www.sasayamanomori.jp/>
E-mail : csr@sasayamanomori.jp

都市のコミュニティとの対等な交流

豊かな地域資源を活かして丹波の魅力を都市のコミュニティに知ってもらい、相互の理解のもとで対等な交流を推進することにより、相互のコミュニティ活動を活発にし、地域の活性化を図ることを目的に、今年度、丹波地域の3つの県民交流広場で、取り組みが始まりました。

阪神間での農産物の直販では、丹波の安全、安心な農産物は大変好評です。今後、農作業体験や田舎暮らし体験など丹波の良さを活かしたコミュニティ同士の交流に発展することを期待します。

篠山市城南地区



神戸市灘区成徳地区

11月10日に成徳地区の80人が篠山市を訪れ、篠山城跡大書院を見学したり、城南地区まちづくり協議会が真南上営農組合に臨時に設けた直売所で地元産の新鮮な野菜を購入するなど、たっぷりと丹波地域の魅力を満喫しました。



丹波市市島町鴨庄地区



尼崎市武庫第6地区

11月24日に西武庫団地の住民約80人が鴨庄地区を初めて訪れました。鴨庄保育園の園児たちが、「鴨野元気太鼓」で出迎え、地元の野菜を使った手料理や地元酒蔵のお酒を味わってもらうなど、丹波地域の良さを体感してもらい、交流を深めました。



篠山市大山地区



尼崎市金楽寺地区

6月から毎月1回地元の新鮮野菜を販売しています。今では、第4土曜日開催が定着しました。今後、丹波への訪問や農業体験交流などの取り組みがさかんになることを期待します。



インターネット・オークションにご用心

相談事例

大手オークションサイトで個人出品を落札し、前払いした。商品が届かないため督促したところ、代金の一部のみ返金があり、色々と言いつつを繰り返した後、連絡がとれなくなってしまった。

アドバイス

インターネット・オークションは、大変便利ですが、利用者間のトラブルも多く報告されています。最も深刻なのが、「代金を支払ったが商品が送られてこない」という例です。インターネットでは相手の姿が見えません。次のようなことに注意しましょう。

① オークションサイトでは出品者の評価欄が設けられています。が、「悪い」の評価の記載内容、「良い」の評価の記載に不自然な点はないかなどがポイントです。

また、過去にトラブルを起こした銀行口座のリストが公開されていることがあります。振込先の口座がリストに載っていないか確認しましょう。

② 実際に被害にあった場合、まずは加害者に責任追及をする必要があります。出品者が特定できるよう落札後のメールなどの資料を保管しておくことが重要です。

オークションサイトや警察に相談したり、被害届を出すことも必要です。サイトによっては、損失補償の制度を持っているところもありますので、それが適用される条件を確認しておきましょう。

十分に注意して、インターネット・オークションを楽しみましょう。

契約トラブル 悪質商法など **困ったら相談!**
0795-72-0999
 相談時間:午前9時~午後5時15分
 (休園日:月曜日 祝日の場合はその翌日)
 丹波生活科学センター(丹波の森公苑内)

兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座
丹波OB大学入学生募集

- 定員 60人程度
 - 期間 4年(H22.5.12(水)～)
 - 受講料 年額15,000円
 - 締切 4月3日(土)
 - 内容 教養講座、地域実践、クラブ活動など
- ※募集する講座は、学校教育法上に基づく大学等ではありません。

丹波の森美術展40周年記念
招待作家展

- とき 7月3日(土)～11日(日)
- 場所 丹波の森公苑 多目的ルーム
- 内容 これまでの招待作家及び審査員の作品を展示

丹波の森美術展はこの展覧会をもって終了いたします。皆様ありがとうございました。

「ひょうご子ども・若者応援団」への登録・加盟の募集

このシステムは、地域の青少年育成活動を支援しています！企業・社会奉仕団体等の持つさまざまな資源と、地域の青少年健全育成団体の活動をコーディネートします！地域に還元できる資源をお持ちではありませんか？活動をする上で足りないものがある、困っている事はありませんか？☆登録・加盟、不明な点については、「ひょうご子ども・若者応援団」担当までお問い合わせください。

問い合わせ

丹波青少年本部 (0795-72-5168)

春の里山ハイキング
参加者募集

- 日時 4月29日(木) 10時集合
- 場所 丹波の森公苑 里山
- 定員 60人 ●参加費 200円

問い合わせ

森づくり課 (0795-72-5169)

兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座
丹波OB大学大学院入学生募集

- 定員 30人程度
 - 期間 2年(H22.5.12(水)～)
 - 受講料 年額15,000円
 - 締切 4月3日(土)
 - 内容 教養講座、地域づくり活動、クラブ活動など
- ※募集する講座は、学校教育法上に基づく大学等ではありません。

研修作家
アトリエアーティスト募集

- 定員 1人又は1組(5人まで)
- 期間 7月10日～9月20日のうち連続した60日以内
- 参加費 無料
- 締切 4月6日(火)
- 内容 滞在中に創作活動を行うとともに、小学生対象の美術教室を企画実施

問い合わせ

文化振興部 (0795-72-5170)

兵庫県立大学特別公開講座受講生募集

- 定員 40人
 - 期間 5月22・29・6月5日
 - 受講料 4,900円
 - 締切 5月19日(水)
 - 内容 「ひょうごの生物再発見ー丹波の動植物を中心にー」3回講座
- 定員に達し次第締め切ります

詳細につきましては別途チラシ、ホームページ等でお知らせします。

「森のe～なかま」ホームページで情報発信！！登録団体募集中

「森のe～なかま」ホームページのリニューアルに伴い、画像の貼付もできる情報掲示板を設置しました。情報掲示板では各団体の活動状況・各種募集・イベントのお知らせなどの情報発信や、新たな協働先を見つけたりすることができます。また、情報発信を各登録団体で行えるため、リアルタイムでの発信が可能となりました。

情報掲示板への書き込みにはあらかじめ団体登録が必要です。只今、会員募集を行っています。「森のe～なかま」に登録して、情報発信してみませんか。

「森のe～なかま」ホームページ
<http://www.tanba-mori.or.jp/bbs/index.html>

問い合わせ 活動支援部(0795-72-5168)

地域とともに“丹波の森研究所”

恐竜化石を活かしたまちづくり

平成18年8月に丹波市で世界的にも希少な恐竜化石が発見されたのち、篠山市でも日本最古の哺乳類化石や日本初の角竜類の化石が発見され、丹波地域は一躍、“恐竜の里”として全国に知られるようになりました。

恐竜化石は、体験型の環境学習やエコツーリズム(地域の環境や生活に触れながら学ぶ旅行)の場として、また地域の資源と結びつけた商品やビジネスの開発など、様々な活用が考えられます。恐竜化石は、丹波地域に与えられた大きなプレゼントです。

(財)兵庫丹波の森協会／丹波の森研究所は丹波県民局の委託を受けて、恐竜化石を活かしたまちづくりを進めるために、平成20年度に、市民・学識者・行政等からなるプロジェクトチームを設置し、「恐竜・ほ乳類化石等を活かしたまちづくり推進方策」を作成しました。ここに示された、市民、企業、団体、行政の協働による多面的なまちづくりの推進に向けて、協議調整の場づくりなどの準備を進めてい

ます。

また、昨年の秋からは、丹波並木道中央公園で実施されている化石発掘体験で、子どもたちの発掘体験のサポートを行っています。

恐竜化石の今後の発掘とともに、恐竜化石を活かしたまちづくりの進展を期待したいと思います。



恐竜化石発掘体験

丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし

第十集を発売します

丹波の民話やことわざを掲載しています。

● 1冊500円 発行4月末

好評をいただいてきました「丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし」も第十集をもって完結となります。発行にあたり、執筆、編集、挿絵、資料提供など関わっていただきました多くの皆様や読者の皆様に感謝を申し上げます。



語りベクラブを紹介します

語りベクラブは「丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし」を通して、子どもたちの心が豊かに育まれる一助になればとの願いをもって平成10年5月に結成されました。

この間、小学校、幼稚園、保育園、子育て団体などで「語り」や「紙芝居」で多くの子ども達との楽しいふれあいを重ねてこられました。また、最近では高齢者や地域での集まりなどへ活動の範囲を広げられています。

お問い合わせは兵庫丹波の森協会までお願いします。

第九集の点訳本をいただきました

「丹南点訳アイ・愛サークル」(代表 酒造忠夫さん)から、丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし第九集の点訳本を寄贈していただきました。これまでに、同むかしばなし第一集から第八集、創作童話「丹波の森のおはなし」第一集、第二集の点訳本もいただいております。丹波の森公苑ライブラリーに備えています。

第十集原画展開催のお知らせ

- 展示期間 4月14日(水)～22日(木)
9:00～17:00(月曜休苑)
- 展示会場 丹波の森公苑 展示ギャラリー

(財)兵庫丹波の森協会



「第19回 ウィーンの森親善訪問の旅」募集

今年は、ウィーンの森と世界遺産のハンガリー・ブダペスト、音楽の都ザルツブルグ、そして絶景のスイス・アルプスを訪問します。

期 間 平成22年7月6日(火)～14日(水) 9日間
 旅行代金 328,000円(2人1室利用お一人料金)
 ※ 燃油サーチャージ・空港税等は別途必要となります
 募集人員 40名(最少催行人員20名)
 申込締切 5月31日(ただし、定員になり次第締め切ります)

第18回 丹波の森写真コンクール 入賞作品展の開催

【丹波会場】会場 丹波の森公苑 展示ギャラリー
 期間 4月24日(土)～5月5日(水)
 9:00～17:00
 4月26日休苑、最終日12:00まで

【篠山会場】会場 篠山市民センター 市民ギャラリー
 期間 5月7日(金)～5月12日(水)
 9:00～17:00(初日13:00から 最終日12:00まで)

今回で写真コンクールは終了します。長らくありがとうございました。

第20期「丹波の森大学の実施」

将来の丹波地域を創造するための講義や、先進地の視察を実施します。詳細は別途ご案内します。

- 定員 130人
- 受講料 10,000円
- 期間 6月～12月

新たに 兵庫教育大学連携講座
 開設!! 丹波の森美術学校
 乞うご期待 陶器のランタン・陶灯を作ろう!

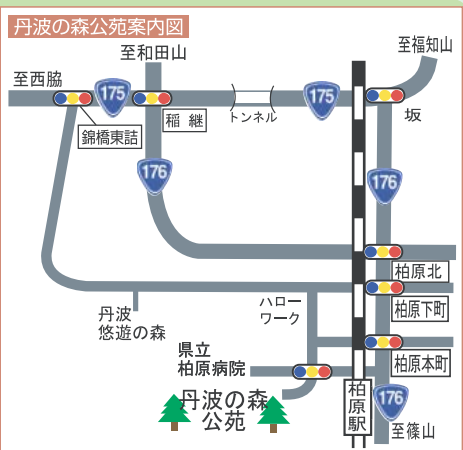
造形の楽しさ、奥深さを感じてください。

定員 中高生20人

不要になった陶磁器の陶片を使って陶灯をつくります。

全日程 3日間 (8月上旬に2回、下旬に1回) 開催予定

中・高・大学生の共同制作によるグループ作品は、丹波の森公苑に恒久設置します!!



森のクイズ

春の里山まつりはいつでしょう。また、会場はどこでしょう。(答えは2つ書いてください)

- | | |
|----------|------------|
| 日時 | 会場 |
| ① 4月 4日 | ① ささやまの森公園 |
| ② 4月 11日 | ② 丹波の森公園 |
| ③ 4月 18日 | ③ 丹波年輪の里 |

正解者には、抽選の上協会からすてきな記念品をプレゼントします。クイズの答えと住所、氏名ご意見などを書いてはがきで事務局までお送りください。(×切4月30日)
 39号の答えは③ヤマボウシが正解でした。たくさんのご応募ありがとうございました。